

これからの教育ビジョン



～「くわなっ子」に求める『学力』～

平成28年度 第1回 桑名市総合教育会議

2016,8,9

「全国学力・学習状況調査」 結果の概要とその分析

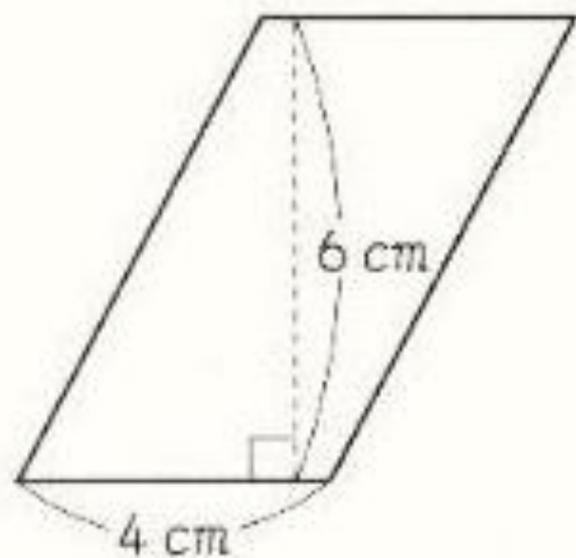


桑名市教育委員会

5

次の図形の面積を求める式と答えを書きましょう。

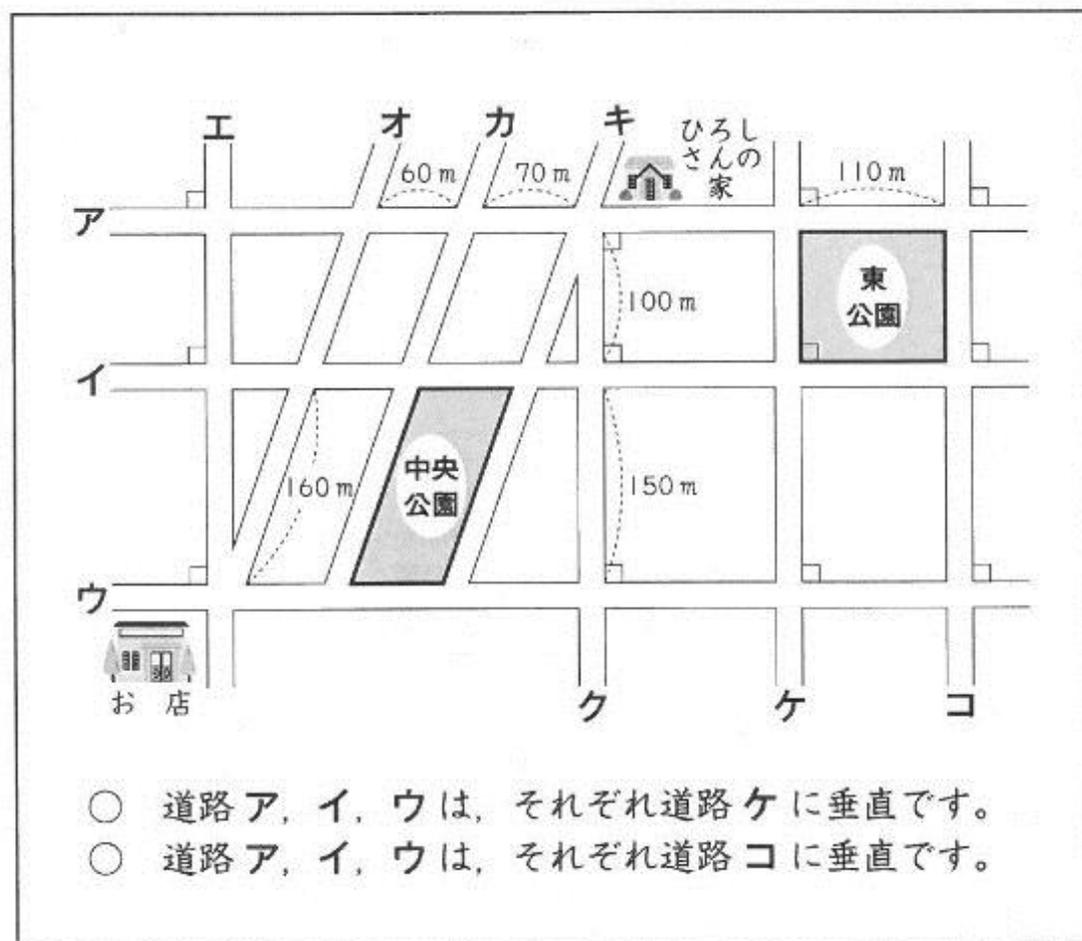
(1) 平行四辺形



(3) ひろしさんの家の近くに東公園があります。

東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。

答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きましょう。



概ね正答できていた問題

- 国語)
- ・ 漢字を読む
 - ・ 文章の書き方の工夫を選ぶ

- 算数)
- ・ 四則計算
 - ・ 式に示された数量関係を示す図を理解する
 - ・ 平行四辺形の特徴を選ぶ

- 理科)
- ・ メダカの雌雄を見分ける
 - ・ 温度のグラフから打ち水の効果を理解する
 - ・ 塩化ナトリウムの化学式を書く

教科の調査結果

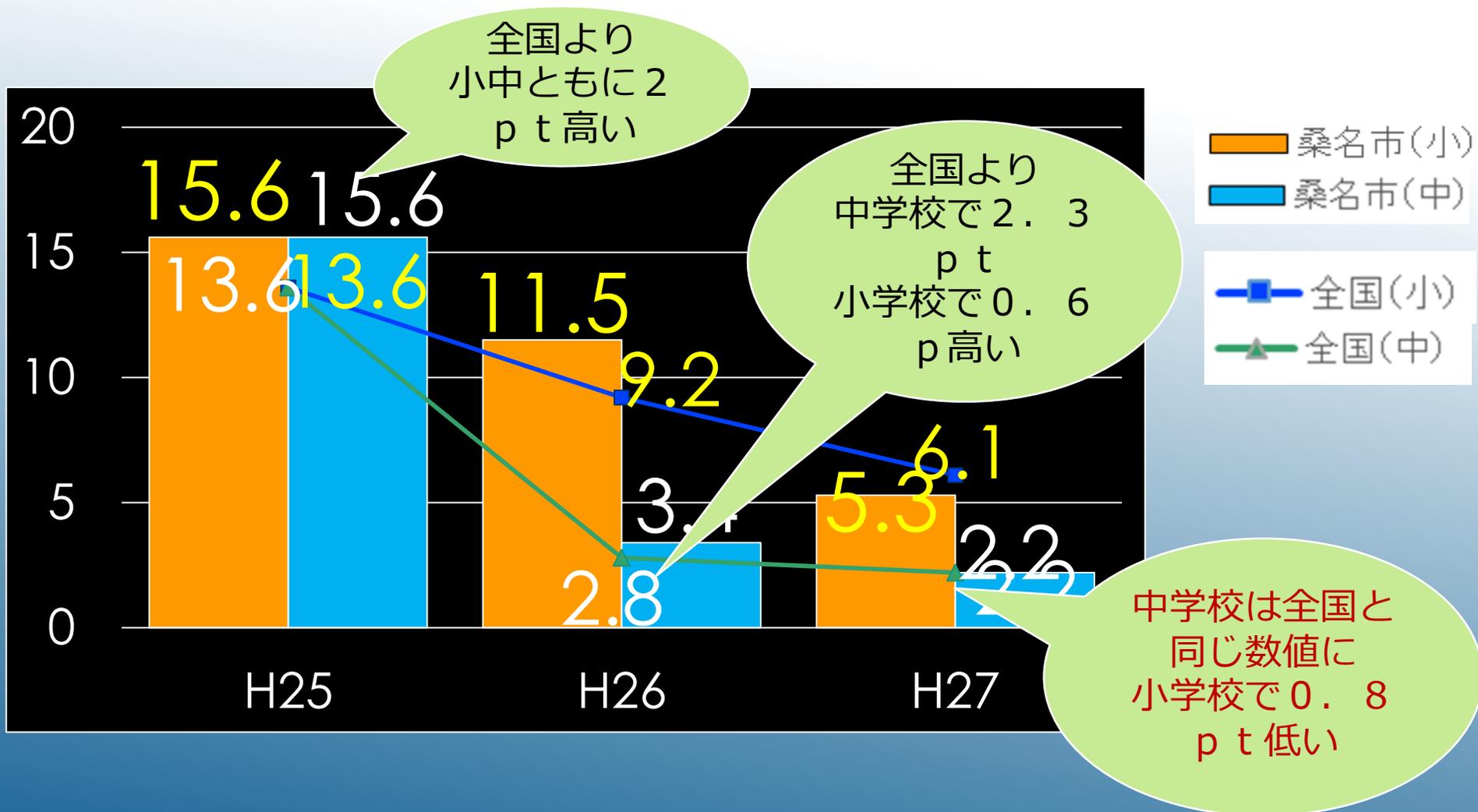
	小学校調査					中学校調査				
	国語		算数		理科	国語		数学		理科
	A (知識)	B (活用)	A (知識)	B (活用)	★	A (知識)	B (活用)	A (知識)	B (活用)	★
全国 平均正答率	70.0%	65.4%	75.2%	45.0%	60.8%	75.8%	65.8%	64.4%	41.6%	53.0%
桑名市 平均正答率	全国と比べて ほぼ同じ	全国と比べて やや高い	全国と比べて ほぼ同じ	全国と比べて ほぼ同じ						
三重県 平均正答率	68.0%	65.3%	74.8%	44.1%	59.2%	75.0%	64.3%	64.3%	40.6%	51.9%

※平均正答率については、全国、三重県、桑名市いずれも公立校のみの結果を集計した値です。

※平均正答率概要については、全国と桑名市の差違が±2.0ポイント以内を「ほぼ同じ」、±2.0～4.0を「やや高い・低い」と表しています。

★理科の調査については「知識」と「活用」の問題が一体的に出題されました。

国語 B 問題における無回答率の推移



次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】（筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事。）です。この【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】

記事の中の▼は、まとまりを表す印です。



1▼四月二十三日　ものは、その時その時によつて読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事な^{※1}えがき方やたくみな^{※1}描写に、賢治のすばらしさを実感した。5▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も^{※2}童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

その作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3▼ある作家の言葉に、「読書という

※1「描写」…かき表すこと。
 ※2「童心」…子供の心。

問題例

小学校

国語

●正答率 16.6%

コラムを読み、
 筆者が引用している
 言葉を書き抜く

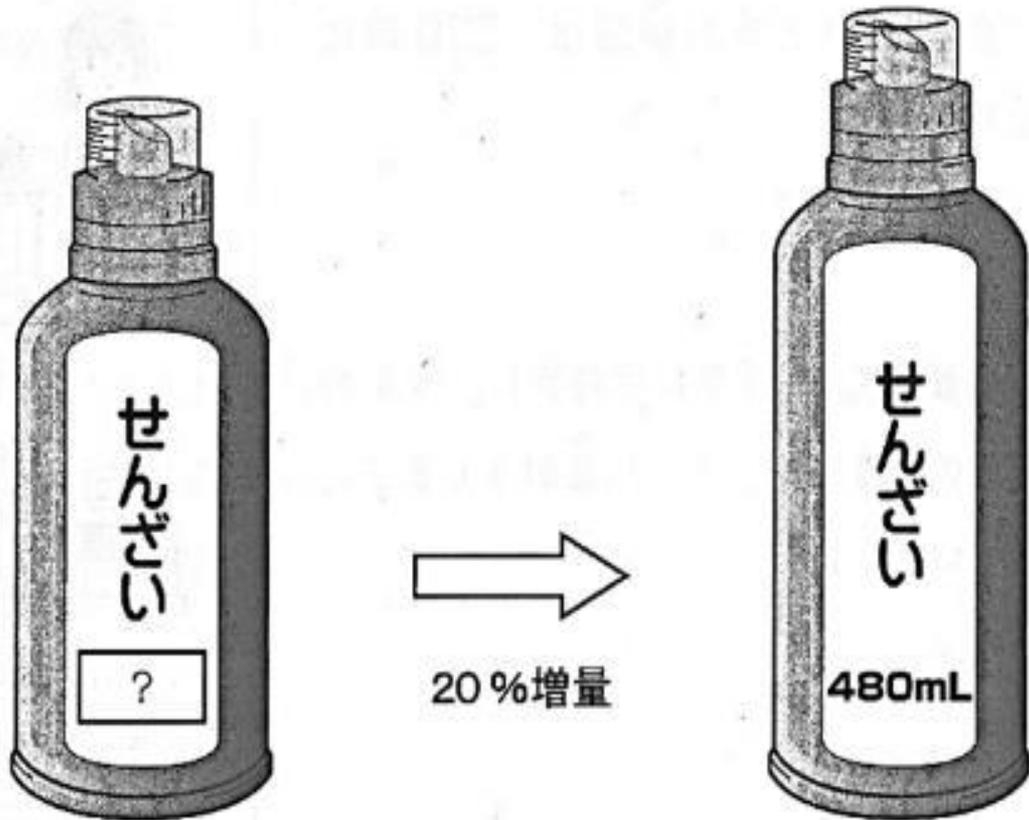
読書という

※問題例 (小学校) 算数

- (2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480 mLです。
増量前のせんざいの量は何 mL ですか。求める式と答えを書きましょう。

● 正答率 14.2%

示された情報から
基準量を求める場面
ととらえ、比較量と
割合から基準量を
求めることができる
か。



式

$$480 \div 1.2 = 400$$

答え 400mL

次の資料は、「A ウェブページの文章」、「B 日本の人口推移を表したグラフ」、「C 雑誌の記事の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

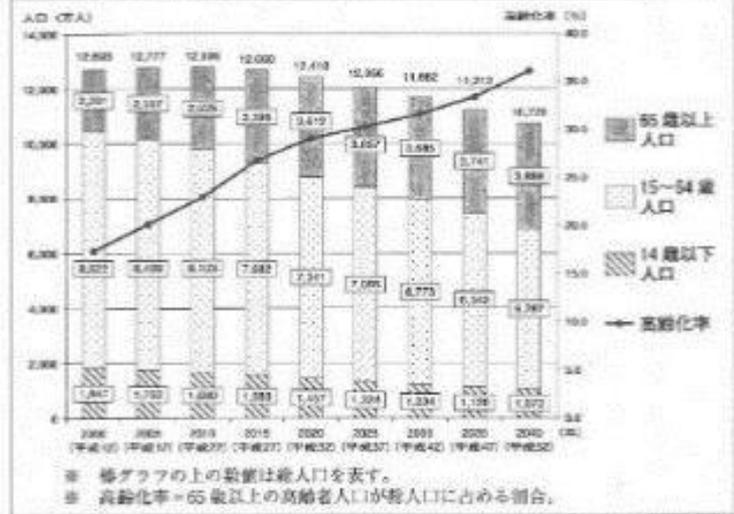
【A ウェブページの文章】

for Tomorrow

（した）をつかもう～

様々なチャレンジに直面する中で、東京は、オリンピックとパラリンピックの価値を、招致の成功を実現することができま

【B 日本の人口推移を表したグラフ】



(総務省ウェブページによる)

【C 雑誌の記事の一部】

生活を支援するロボットの開発

世界では、様々なロボットの開発が進められている。例えば、人の移動を支援する搭乗型ロボット。このロボットの中には、10年以上前から実用化されているものもあり、空港でのパトロールなどに使われている。

現在、日本では、「生活支援ロボット」の開発が行われている。誰でも簡単に乗り降りでき、日常生活での移動を助ける搭乗型ロボットの開発に加え、装着型ロボットの開発も進んでいる。これは、装着した人の意思を読み取って身体の動きをサポートするロボットである。身体機能の回復のためのリハビリテーションなどで既に一部導入されているが、今後は、足腰の弱った人の歩行支援、重い荷物の持ち上げ、レスキュー活動など、幅広い場面での活用が期待されている。

このように、人間の生活を支援するロボットの開発が、日夜進められているのだ。



搭乗型ロボットの例



装着型ロボットの例

三 あなたは、二〇二〇年の日本は、どのような社会になっていると予想しますか。また、その社会にどのように関わっていきたい

と思いますか。あなたの考えを、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 資料「A ウェブページの文章」、「B 日本の人口推移を表したグラフ」、「C 雑誌の記事の一部」の中からいずれか二つ

を選び(どの資料を選んでもかまいません)、それらの内容を取り上げて具体的に書くこと。

条件2 「二〇二〇年の日本は、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書くこと(解答用紙に書かれている書き出しの字数を

含みます)。

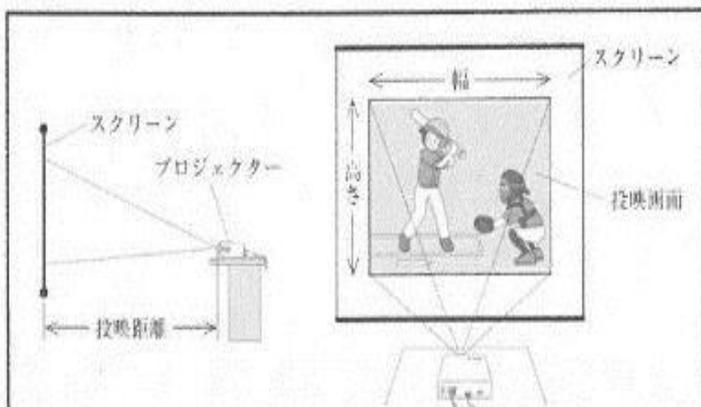
問題例 (中学校) 国語

●正答率 22.7%
複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを書く

※問題例 (中学校) 数学

1 健治さんの学校では、新入生歓迎会のときに、体育館で部活動紹介の映像を流します。映像は、プロジェクターでスクリーンに映し出されます。そこで、健治さんはプロジェクターの置き場所を決めるために、プロジェクターについてインターネットで調べました。

健治さんが調べたこと



投影距離 (m)	投影画面の大きさ		
	高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)
1.0	0.6	0.8	0.48
1.5	0.9	1.2	1.08
2.0	1.2	1.6	1.92

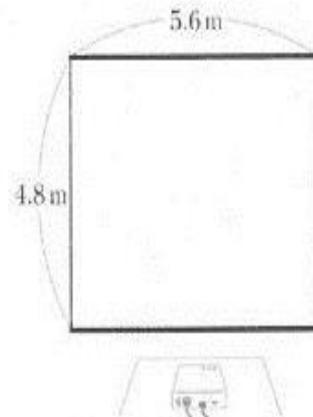
- 投影画面の大きさは、投影距離によって変わる。
- 投影画面の形は、調整されて、いつも長方形になる。
- 投影画面の高さや幅は、投影距離に比例する。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 投影距離を x m、投影画面の高さを y m とするとき、 y を x の式で表しなさい。

(2) スクリーンの高さは4.8 m、幅は5.6 mです。投影画面を、スクリーンからはみ出ないようにして、できるだけ大きく映し出すためには、投影距離を何mにすればよいですか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 5 m
- イ 6 m
- ウ 7 m
- エ 8 m



(3) 健治さんは、映像が暗くて見えにくいのではないかと気になりました。しかし、プロジェクターの光源の明るさを変えることはできません。そこで、映像の明るさについて調べると、映像の明るさと投影画面の面積の関係は、次の式で表されることがわかりました。

$$\left(\begin{array}{c} \text{映像の} \\ \text{明るさ} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{プロジェクターの} \\ \text{光源の明るさ} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{c} \text{投影画面の} \\ \text{面積} \end{array} \right)$$

このとき、映像の明るさを2倍にするにはどうすればよいですか。下のア、イの中から正しいものを1つ選びなさい。また、それが正しいことの原因を、上の式で表される関係をもとに説明しなさい。

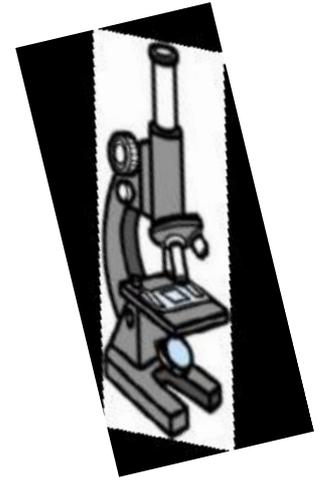
- ア 投影画面の面積を2倍にする。
- イ 投影画面の面積を $\frac{1}{2}$ 倍にする。

● 正答率
10.6%

映像の明るさを2倍にする投影画面の大きさを選び、その理由を数学的な表現を用いて説明する

イ
映像の明るさは投影画面の面積に反比例するから、投影画面の面積を倍にすると、映像の明るさは2倍になる。

正答率の低い問題からみえる弱み



<小学校>

国語では、

目的や意図に応じて内容を整理して書けない

算数では、

数学的な考え方をもちいて説明できない

理科では、

観察や実験の操作をその理由まで理解できていない

正答率の低い問題からみえる弱み

<中学校>

国語では、

自分の考えを根拠をもとに書くこと

数学では、

理由を数学的な表現を用いて説明すること

理科では、

実験を自然現象の仕組みと関連させること



最近の問題より

いろいろな題材や資料から出題されている

平成24年度 中学校 数学B問題

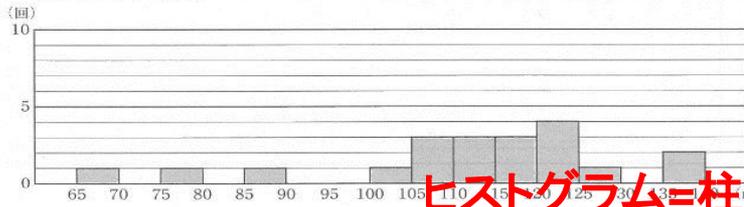


3 1998年生まれ的美咲さんは、この年に行われた長野オリンピックで日本チームが金メダルをとったスキージャンプ競技に興味をもちました。この競技では、飛んだ距離の大きさと姿勢の美しさを競います。

美咲さんは、このときの日本チームの原田雅彦選手と船木和喜選手の飛んだ距離の記録について調べました。下の2つのヒストグラムは、1998年シーズンの長野オリンピックまでのいくつかの国際大会で、二人が飛んだ距離の記録をまとめたものです。たとえば、このヒストグラムから、二人とも105 m以上110 m未満の距離を3回飛んだことが分かります。

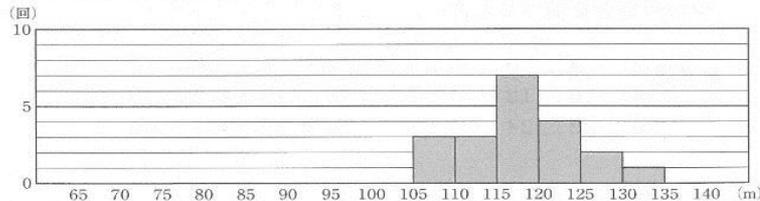


原田選手の記録



ヒストグラム=柱状グラフ

船木選手の記録



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

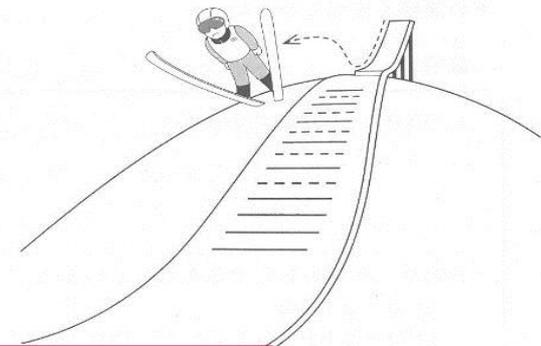
(1) 前ページの二人のヒストグラムから、原田選手と船木選手の飛んだ回数が同じであることが分かります。その回数を求めなさい。

(2) 美咲さんは、もしこの二人がもう1回ずつ飛んだとしたら、どちらの選手がより遠くへ飛びそうかを、二人のヒストグラムをもとに考えてみたいと思いました。

二人のヒストグラムを比較して、そこから分かる特徴をもとに、次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を一人選ぶとすると、あなたならどちらの選手を選びますか。下のア、イの中からどちらか一方の選手を選びなさい。また、その選手を選んだ理由を、二人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの選手を選んで説明してもかまいません。

ア 原田選手

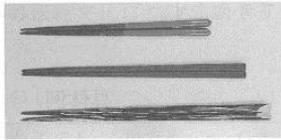
イ 船木選手



不確定な事象について、目的に応じて資料を収集して整理し、資料の傾向を読み取って問題を解決できるようにする。

平成26年度 小学校 算数B

(2) まことさんは、使いやすいはしの長さのめやすについて発表します。

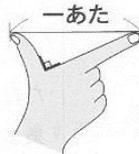


使いやすいはしの長さのめやす

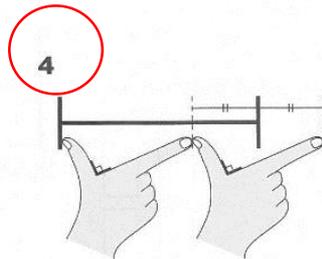
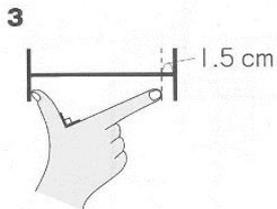
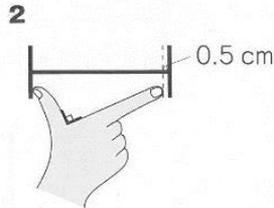
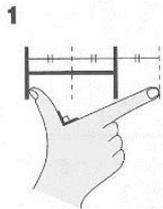
使いやすいはしの長さのめやすは、「^{ひと}一あた半」と言われています。

一あは、親指と人差し指を直角に広げたときのそれぞれの指先を結んだ長さです。

一あた半は、一あたを1.5倍した長さです。



下の1から4までの中から、一あた半の長さを表しているもの(——)を1つ選んで、その番号を書きましょう。



(3) まことさんの発表を聞いて、なつきさんは妹のはしを買いに行こうと思いましたが。

なつきさんは一あたの長さについてさらに調べ、下のことがわかりました。

一あたは、身長^の約10%の長さです。

妹の身長は140 cmです。

妹の身長と、左の使いやすいはしの長さのめやすをもとに、一あた半の長さを求めると、はしの長さは約何cmになりますか。求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

(正答例)

まず、妹の一あたの長さを求めるために、妹の身長^の10%の長さを計算します。

$140 \times 0.1 = 14$ で、約14cmになります。次に、妹のはしの長さを求めるために、妹の一あたの長さを1.5倍します。 $14 \times 1.5 = 21$ で、約21cmになります。

答え 約21cm

日本の伝統文化をテーマにした出題。(お箸)



平成26年度 中学校 国語B問題

3 落語は、一人の演者が、座ったまま何人もの登場人物を演じ分けて物語を表現する日本の伝統的な芸能です。次の「落語を紹介する本の一部」、「落語「目黒のさんま」のあらすじ」、「落語「目黒のさんま」の最後の部分」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【落語を紹介する本の一部】

■落語の構成■ 次の三つの要素で構成されている。

〔まくら〕 本題に入る前の導入部分。本題に関係のある短い話などで聞く人を引き付ける。

〔本題〕 話の中心部分。「地」と呼ばれるナレーションを含みながら、主に登場人物の会話で話を進める。

〔落ち〕 話の最後の部分で、聞く人を笑わせたり納得させたりする。話がストンと落ちるように結末を迎えるので「落ち」という。

■人物の演じ分け■ 一人で演じるので、独特の工夫がある。

客席から見て、舞台の右の方を上手、左の方を下手という。会話の場面では顔を上手や下手に向けることで、登場人物の上下関係や位置関係を表す。顔の向きその他、言葉遣いや口調、仕草を変えることで、何人もの登場人物を表現する。



相手の立場が下なら
下手に向かって話す。



相手の立場が上なら
上手に向かって話す。

【落語「目黒のさんま」のあらすじ】

ある秋の日、江戸に住む殿さまが、家来を連れて、郊外の目黒まで馬に乗って出掛けました。殿さまが空腹を感じ出した頃、どこからか魚を焼くにおいが漂ってきます。殿さまは、このよいにおいが、「さんま」という魚を焼くにおいだと知り、さんまが食べたくてたまらなくなりました。

殿さまは、家来たちに「早速さんまを用意せよ。」と言い付けました。しかし、このあたりには魚屋も見当たらないため、さんまはすぐには手に入りません。困った家来たちは、さんまを焼いていた農家を訪ね、脂ののった焼き立てのさんまを譲ってくれるように頼みますが断られます。そのやりとりを聞いていた殿さまは、自らお願いし、ようやく、生まれて初めてのさんまを召し上げます。空腹のところへもってきて、匂のさんまですから、そのおいしさに殿さまは大喜びしました。屋敷に戻ってから、殿さまは目黒で食べたさんまの味が忘れられません。しかし、殿さまの食事に庶民の食べるさんまなど出てくるはずもなく、さんまへの思いは日に日に募る一方です。

ある日、殿さまは、親戚の家に出掛けました。すると、「何でもお好みのお料理をお申し付けください。」とのことでしたので、殿さまは、待つてましたばかりに、「さんまが食べたい。」とおっしゃいました。親戚の家の家来たちは、早速日本橋の魚河岸から最も上等なさんまを取り寄せました。しかし、このような脂の多い魚を差し上げて、もしもお体にさわっては一大事と心配した家来たちは、十分に蒸して、小骨は毛抜きで抜いて、さんまのだしがらみなのをこしらえました。

〔注1〕 日本橋の魚河岸は当時、江戸の日本橋には大きな魚市場があり、新鮮な魚が集っていた。

〔注2〕 だしがらみだし汁をとったあのかす。

※ 話は、このあとの「落語「目黒のさんま」の最後の部分」(次のページ)に続きます。



日本の伝統文化をテーマにした出題。(落語「目黒のさんま」)



平成27年度 小学校 国語B問題

3

六年生の山田さんの学級では、「一休さんとんち話」という本を読んで、紙しばいを作り、一年生に読み聞かせをしました。そこで、山田さんのグループでは、その本の中から次の【びょうぶのとらのお話】を選び、場面の様子を【四枚の絵】に分けてかきました。あとの問いに答えましょう。

【四枚の絵】

【びょうぶのとらのお話】

の中の1から5までは、まとまりを表しています。

〈絵1〉



一休さんと、このさまの話です。
 このさまは、とんちで有名な一休さんを少し困らせてみようと思ひ、一休さんをおやしきに呼びました。そして、
 「これこれ一休。たのみたいことがあるが、聞いてはくれぬか。」
 「はい、なんでしょう。」
 このさまは、おそろしいとらの絵がかいてある、びょうぶを指さして、
 「実は、このとらじゃ。毎晩飛び出しては、やしきの中を暴れ回るのだ。
 一休、このとらを暴れぬように、しばりあげてはくれぬか。」
 と言いました。

1 一休さんは、それを聞くと、

「かしこまりました。」

と言って、さっと立ち上がりました。そして、

「では、とらをしぼりあげるためのなわを貸してください。」

と言いました。このさまは、家来に言いつけてなわを持って来させました。一休さんは、なわを受け取り、広間のすみに下がりました。

2 「では、これから、とらをしぼりあげます。このさまや、家来の方々は、びょうぶの裏に回ってください。とらが飛びかかるといけませんから……。」

このさまと家来は、言われるとおりにしました。一休さんが、何を始めるのかと思いましたが、とりあえずびょうぶの裏に行きました。そして、にやにや笑いながら、様子を見ていました。

3 一休さんは、はちまきをしめ、たすきをかけて身じたくを整え、いよ

〈絵2〉



〈絵3〉



いよなわを手に持ち、びょうぶの前に進み出ました。それから、足をふんばり、びょうぶの前で構えて言いました。
 「やい、とらめ。このさまの言いつけでお前をしぼりあげるぞ。さあ、出て来い。勝負だ。」
 4 一休さんは、大まじめです。とらは、もちろん出て来ません。
 「さては、おそれをなしたか。とらめ、出て来ないな。」
 そう言うてから、
 「びょうぶの裏の家来の方々、そこで大声をあげて、とらを追いつけてください。出て来ないとしぼりませんからね。」
 5 それを聞いた家来たちは困りました。このさまはおこり顔で、
 「何を言うか、一休。絵のとらが、追い出せると思うか。」
 と言いました。

「それはおかしい。先ほどのさまは、このとらが、毎晩飛び出して暴れ回るとおっしゃいました。ひとりで飛び出すくらいですから、家来の方々に追い出せないわけがないでしょう。」

「ううむ。」

このさまは、うなづいて何も言えなくなっていました。

一休さんは、続けて、

「それとも、晩にならないと、出て来ないのでしょうか。でしたら、今夜、もう一度やり直しましょうか。」

それを聞いて、このさまは、

「もうよい。わしの負けじや。」

と言いましたとさ。

※1 「とんち」……その場ですぐに出るちえのこと。

※2 「びょうぶ」……部屋の中に立てて、かざりや仕切りなどにするもの。

とんち話「びょうぶのとらのお話」から出題。最後のこのさまの言葉をどんなふうに工夫して音読するか根拠をもとに説明させる問題。

平成27年度 小学校 算数B問題

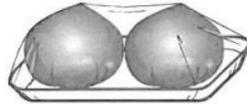
2

たか子さんは、おつかいに行きます。

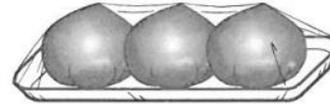
(1) まず、トマトを7個買います。お店では、トマトを次のように売っていました。



1個入りパック
100円



2個入りパック
180円



3個入りパック
270円

トマト7個の代金が最も安くなる買い方を、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その買い方をしたときのトマト7個の代金を書きましょう。

- 1 1個入りパックを7つ買う。
- 2 2個入りパックを3つと、1個入りパックを1つ買う。
- 3** 2個入りパックを2つと、3個入りパックを1つ買う。
- 4 3個入りパックを2つと、1個入りパックを1つ買う。

単位量当たりの大きさを用以て、目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求める。

630円





平成27年度 中学校国語 A問題

七次は、「漫画の一部」とその場面の「古典の文章の一部」です。「古典の文章の一部」の（ ）の中は現代語訳で書かれています。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（「漫画の一部」の①から⑤は、順番を表します。）

【漫画の一部】



※出典
平田喜信監修
『くもんのまんが 古典文学館 竹取物語』
(平成3年9月 くもん出版)

国語では、昨年度、竹取物語の漫画からの出題。漫画からの出題は初。



平成28年度 中学校 国語B問題

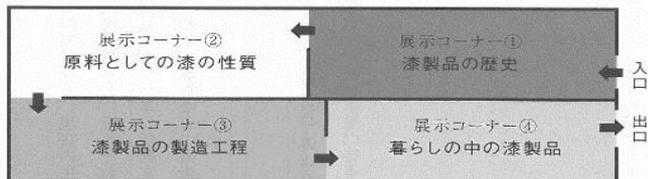
「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。

「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを実感してみませんか。

うるしの世界

おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美だけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

展示内容（1階展示室）



関連イベント

～漆製品を使ってみよう～

漆の器とスプーンでアイスクリームを味わいます。また、使用後の手入れの仕方も体験できます。漆の器の美しさや手触りのよさなどを感じてみませんか。

日時：開催期間中の土曜日
午後3時～午後4時
場所：1階特別室
定員：20名（無料・当日受付）

～職人の技を見てみよう～

この道30年の職人による漆塗りの実演を見ることが出来ます。交流する時間もありますので、伝統を受け継ぐ職人としての思いなどを直接聞いてみませんか。

日時：開催期間中の日曜日
午前10時～午前11時
場所：1階ホール
定員：50名（無料・当日受付）

【博物館の暮らし（表）】

暮らしの中の 伝統文化展



2016年 5月21日(土) - 6月19日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時
休館日：月曜日
入館料：一般300円 大学生・高校生200円
中学生以下無料

第2期：「和紙の世界」6月25日(土)～7月24日(日)
第3期：「織物の世界」7月30日(土)～8月28日(日)

草木市立博物館

〒900-9859 草木市南町7
電話 000-123-xxxx
<http://www.hakubutsukan.xx.jp>

【博物館の暮らし（表）】

1 次の「博物館の暮らし（表）」と「博物館の暮らし（裏）」を読んで、あとの問いに答えなさい。

漆のイベントのちらしからの出題。文章からだけでなくさまざまな媒体から必要な情報を得ることができる力が求められている。

平成28年度 中学校 数学B問題

2 桃香さんと拓真さんは、お互いに数学の問題を出し合いながら勉強しています。

桃香さんは、次のような問題を作りました。



桃香さんが作った問題

x の値に対応する y の値は、次の表のようになります。
このとき、 $x = 4$ のときの y の値を求めなさい。

x	...	2	3	4	...
y	...	18	12		...

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 拓真さんは、桃香さんが作った問題について、 y は x の一次関数であると考えました。 y が x の一次関数であるとするとき、 $x = 4$ のときの y の値を求めなさい。

(2) 桃香さんと拓真さんは、桃香さんが作った問題について話し合っています。

拓真さん「僕は、一次関数と考えてこの問題を解いたよ。」
桃香さん「私は、一次関数とは別の関数で考えて、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になるようにするつもりだったんだよ。」
拓真さん「それなら、問題の最初に x と y の間の関係を書き加える必要があるね。」

桃香さんが作った問題の最初に、 x と y の間の関係を書き加えます。 $x = 4$ のとき $y = 9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しいものを下のア、イの中から1つ選び、それが正しいことの理由を説明しなさい。

ア 「 y は x に比例しています。」を書き加えれば、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になる。

イ 「 y は x に反比例しています。」を書き加えれば、 $x = 4$ のとき $y = 9$ になる。

中学生が問題を作っている場面から。問題に必要な条件（前提条件）が不足している状況で、必要とされる条件を選び、理由とともに説明する問題。



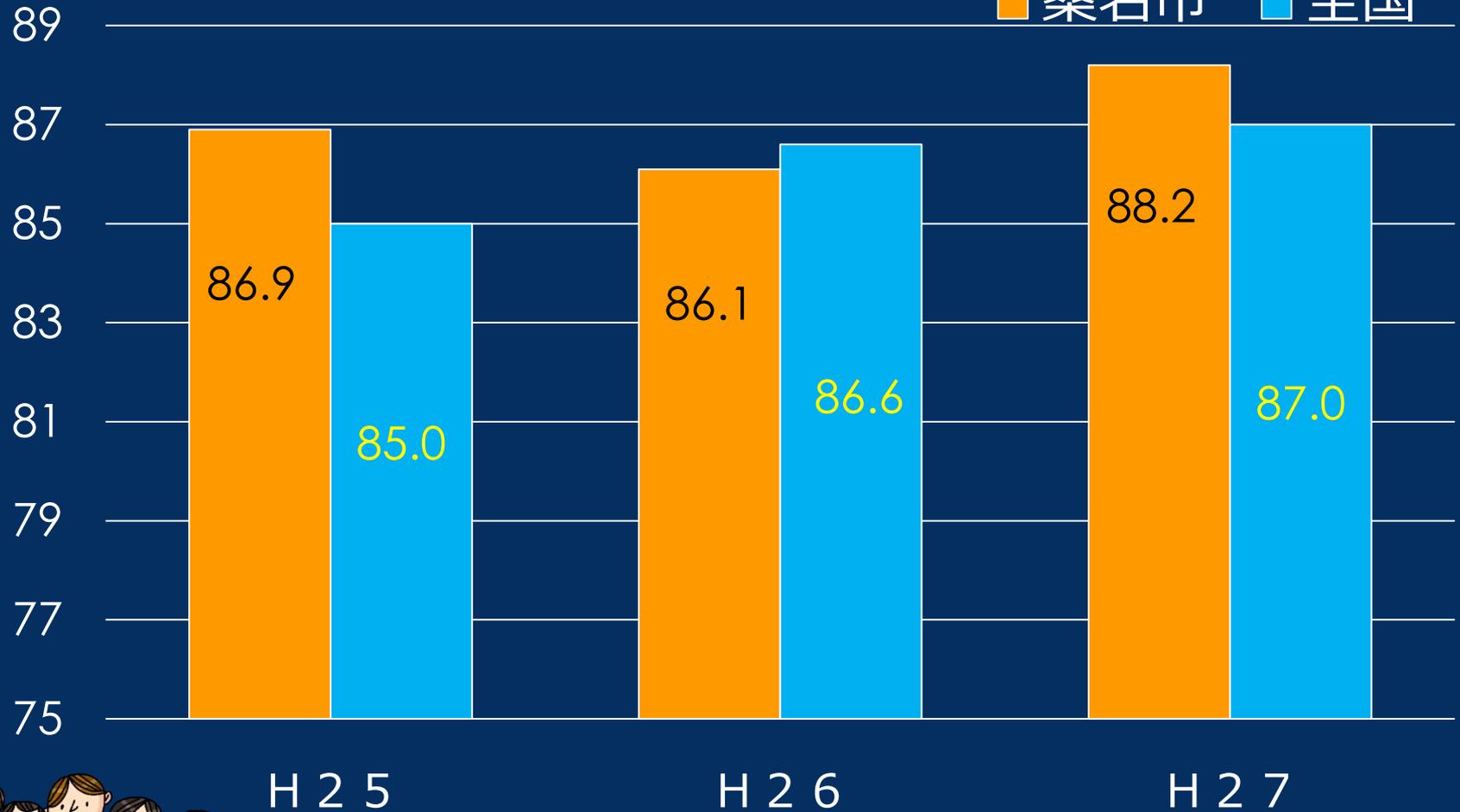
児童生徒質問紙の結果から見た 桑名の子ども姿



学校に行くのが楽しい

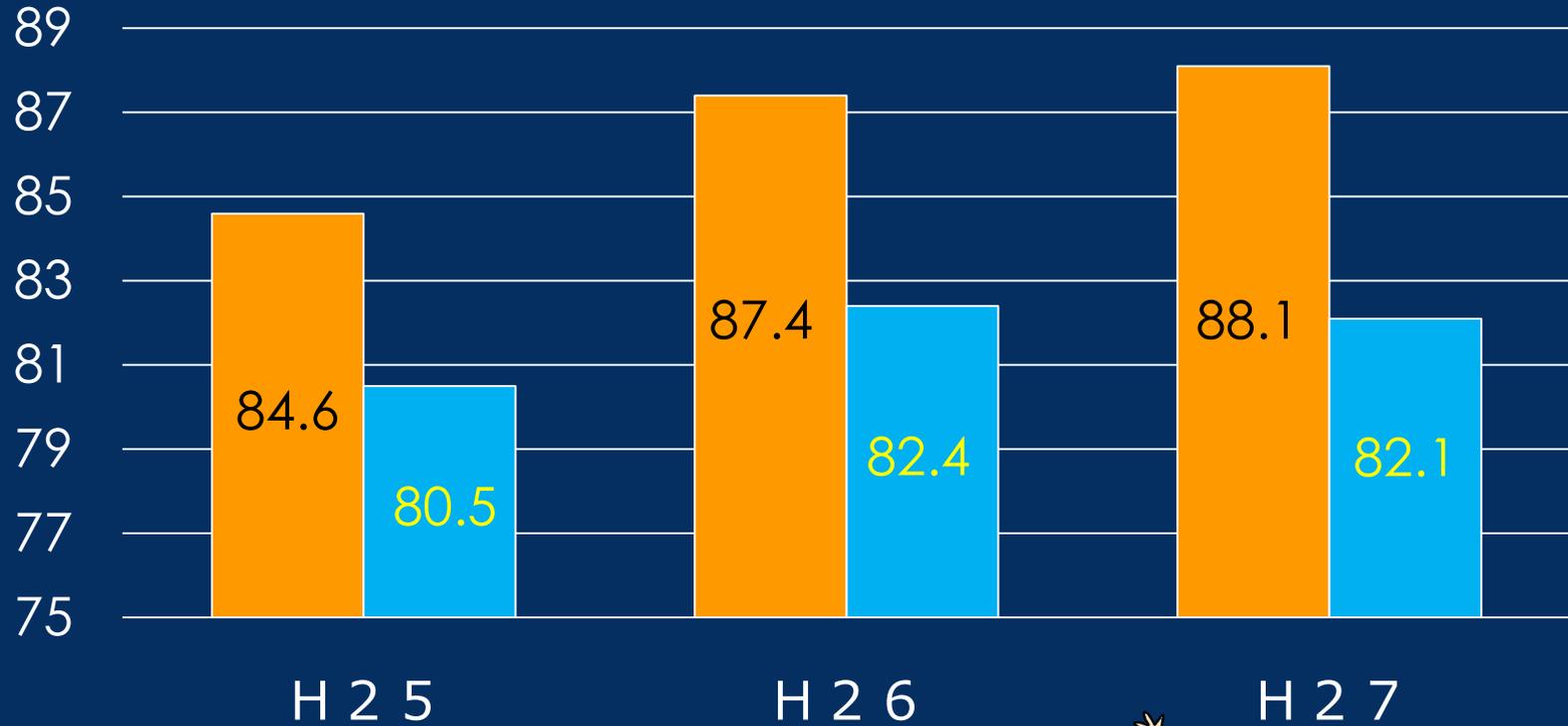
【小学校】

■ 桑名市 ■ 全国



学校に行くのが楽しい

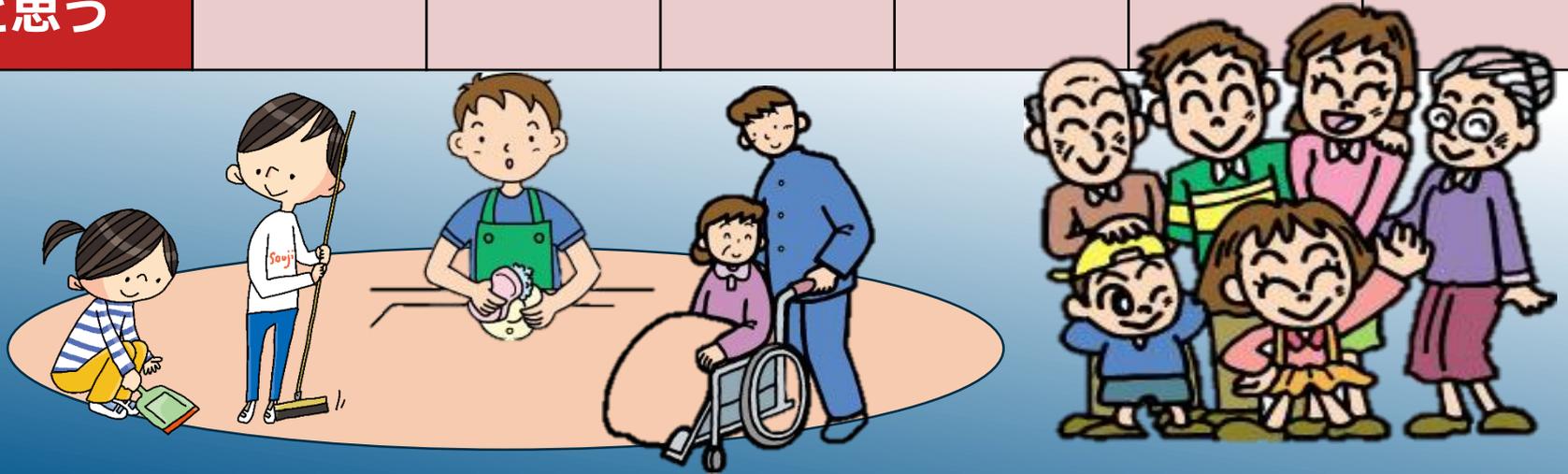
【中学校】



人の役に立つ人間になりたい！

過去3年間 9割以上

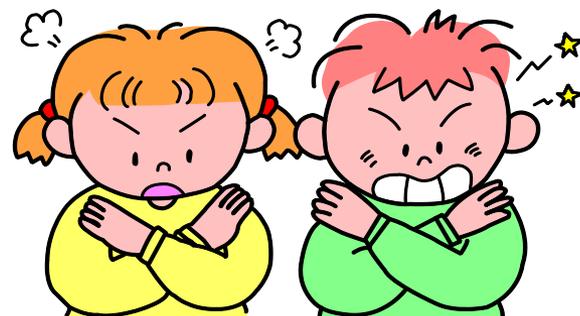
	小学校 (%)			中学校 (%)		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
人の役に立つ人間になりたいと思う	95.0	92.8	94.4	92.2	93.4	94.8
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	92.5	92.5	93.6	94.4	94.1	95.5



いじめはダメ！約95%

いじめはどんなことがあってもいけないと思う

※桑名市 (%) ()内は全国



	H25	H26	H27
小学校	96.5 (95.9)	96.1 (96.4)	96.2 (96.2)
中学校	90.2 (93.5)	91.5 (93.4)	94.4 (93.7)

桑名市では、



★「自分には良いところがある」

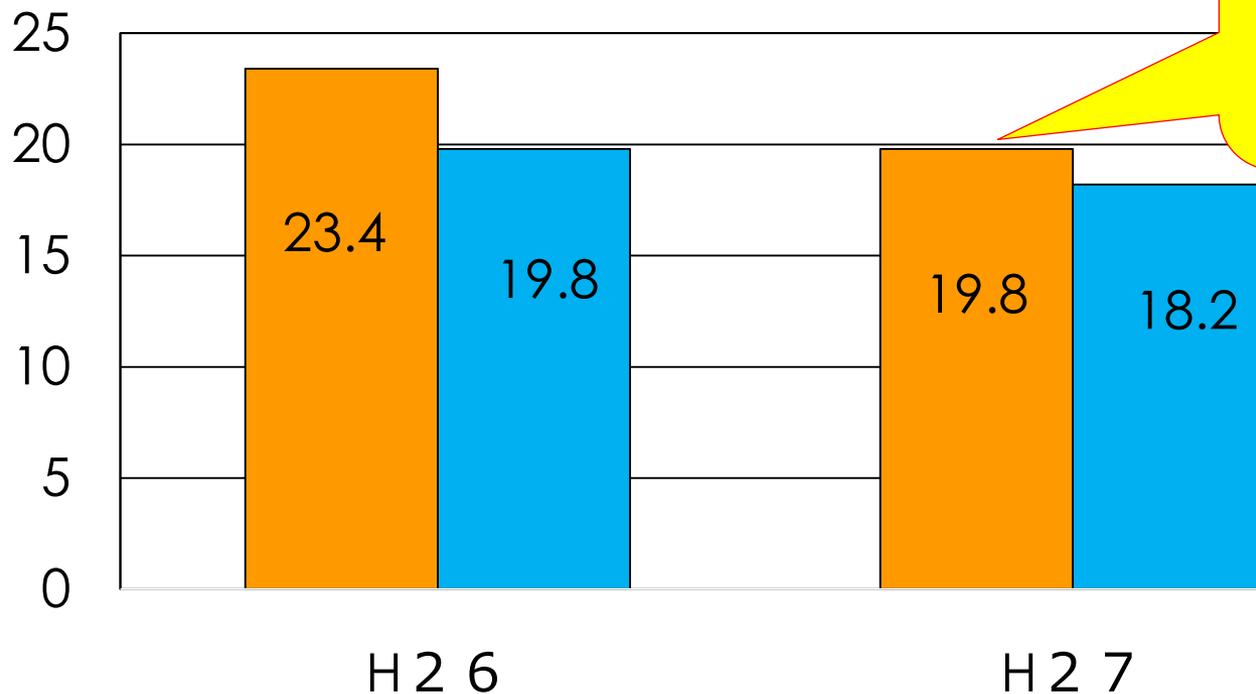
と回答する児童生徒は全国より高く、

自己肯定感や自己有用感が高い傾向にある。

しかし、家庭での学習や生活には気になることが・・・

平日1日当たり携帯電話やスマートフォンで3時間以上通話やメール・インターネットをする（中学校）

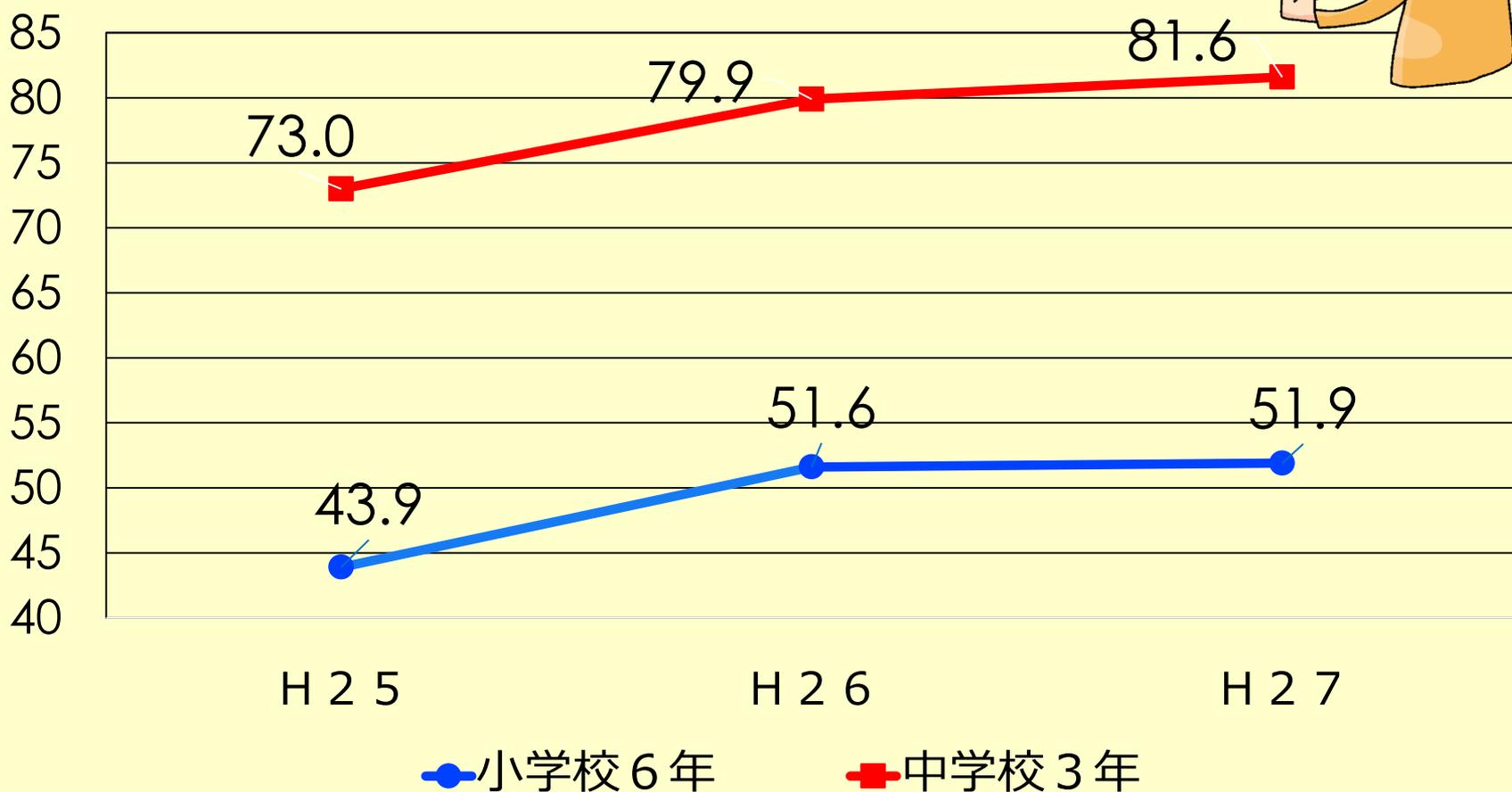
■ 桑名市中学3年 ■ 全国中学3年



この年度、桑名市では、約260人の生徒が該当していました。



携帯電話やスマートフォンの所持率（桑名市）



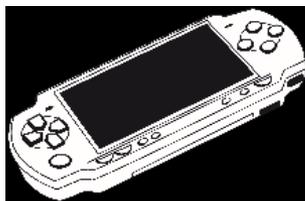
<平日の過ごし方>

- 2時間以上、テレビ・DVDなどを見ている

小6 62% (全国59%)

中3 61% (全国56%)

- 2時間以上、テレビゲームをしている



小6 28% (全国30%)

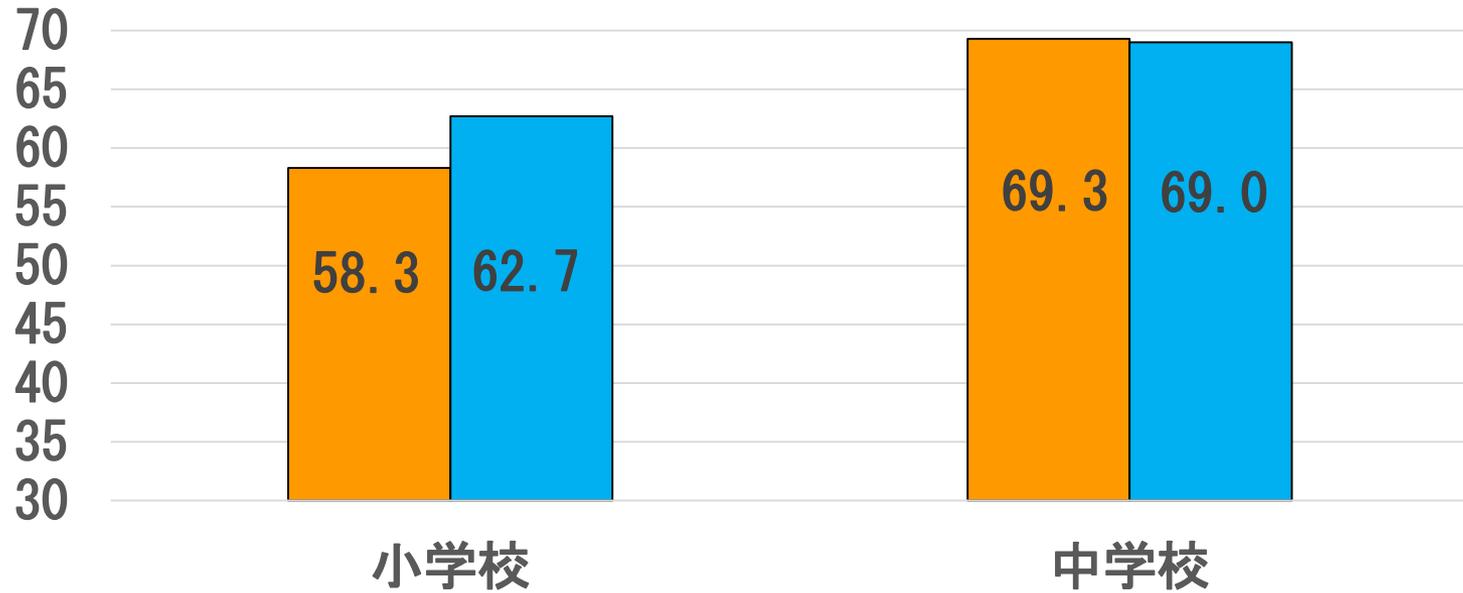
中3 38% (全国36%)

携帯スマホの利用、テレビの視聴、
テレビゲームの使い方に課題



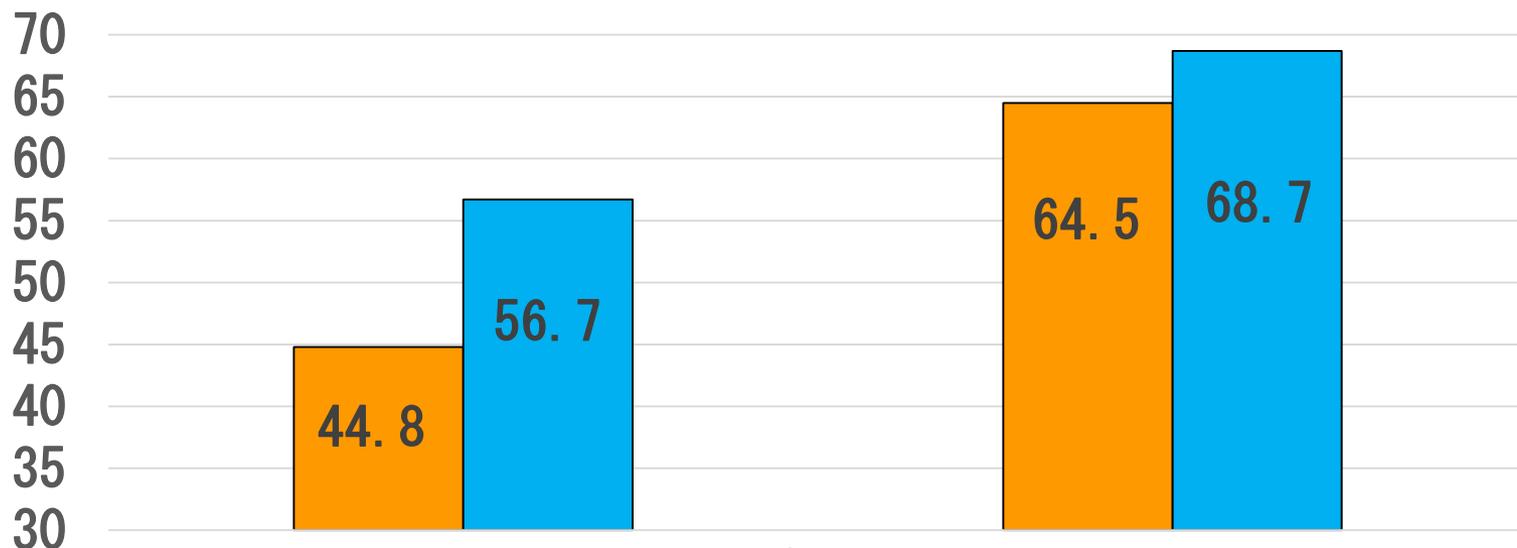
■ 桑名市

■ 全国

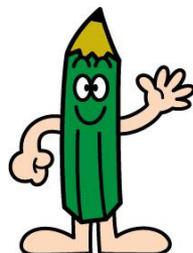


平日に1時間以上家庭学習をする





小学校



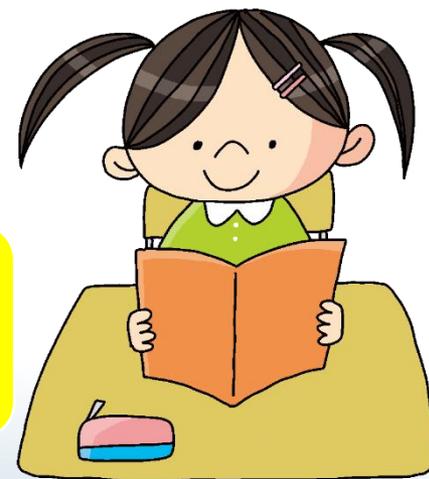
中学校

休日に1時間以上家庭学習をする

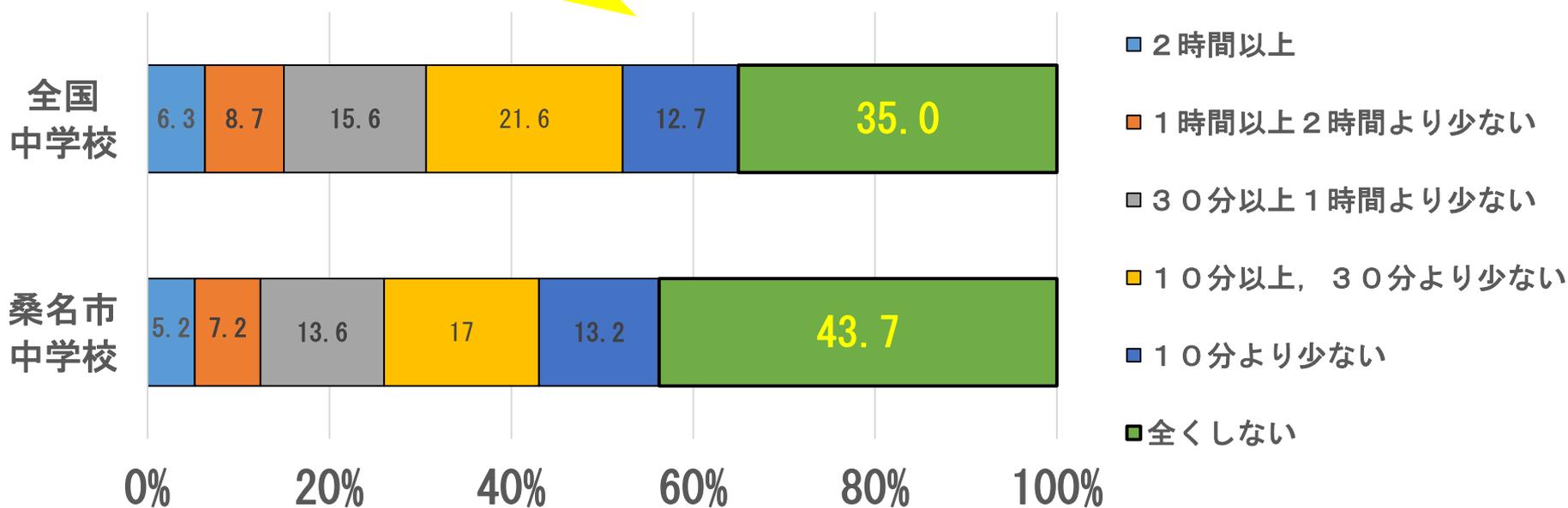




読書の時間が少ない



「平日、1日当たりどれくらいの時間読書しますか」という質問の回答



学校では

○ほとんどの学校が

朝の読書など 一斉読書の時間を設定している。

小学校では

桑名市 93% (全国 61%)

中学校では

桑名市 80% (全国 80%)



学校では

<授業づくりのポイント①②>

めあてが示され、ふりかえりを行う授業であったか？

①めあてを示した

小学校

教員は96.3%

↓-16.7%

児童は79.6%

中学校

教員は80.0%

↓-12.8%

生徒は67.2%

②授業の振り返りを行った

小学校

教員は77.8%

↓-11.5%

児童は66.3%

中学校

教員は77.0%

↓-30.2%

児童は46.8%



＜桑名市の生徒指導上の課題からみえる家庭の実態＞

家庭教育の基盤である家庭の状況が

以前とは大きく変容してきている。

気になる実態

- ①親の抱える様々な事情で、養育状況が心配な家庭
- ②子ども自身の発達課題に伴う養育の難しさに悩む親
- ③子育てよりも、自分の生活を優先する親の意識
→これらに左右されてしまう「子どもたち」や
「学校」の教職員

**夢を持ち その夢に向かって
努力する子を 育てます。**

(桑名市教育大綱 基本理念)

『くわなっ子教育ビジョン』の策定をすすめます。

視点1) 未来を切り拓く「生きる力」の育成

視点2) 子どもたちが生き生きと生活できる支援

視点3) 郷土に誇りを持ち、生涯にわたり

学び続ける環境

これからの時代を担う子どもたちに 求められる『学力』とは



桑名の子どもたち、
学校、家庭、地域に何を求めるか？